

(参考資料 2)

富山県への定着に関する大学生意識調査
(県内大学生・県外進学者)
報告書 (抜粋)

平成 27 年 10 月

富山県 知事政策局

(4)富山県の住みやすさ

Q4. 富山県は住みやすい県だと思いますか。

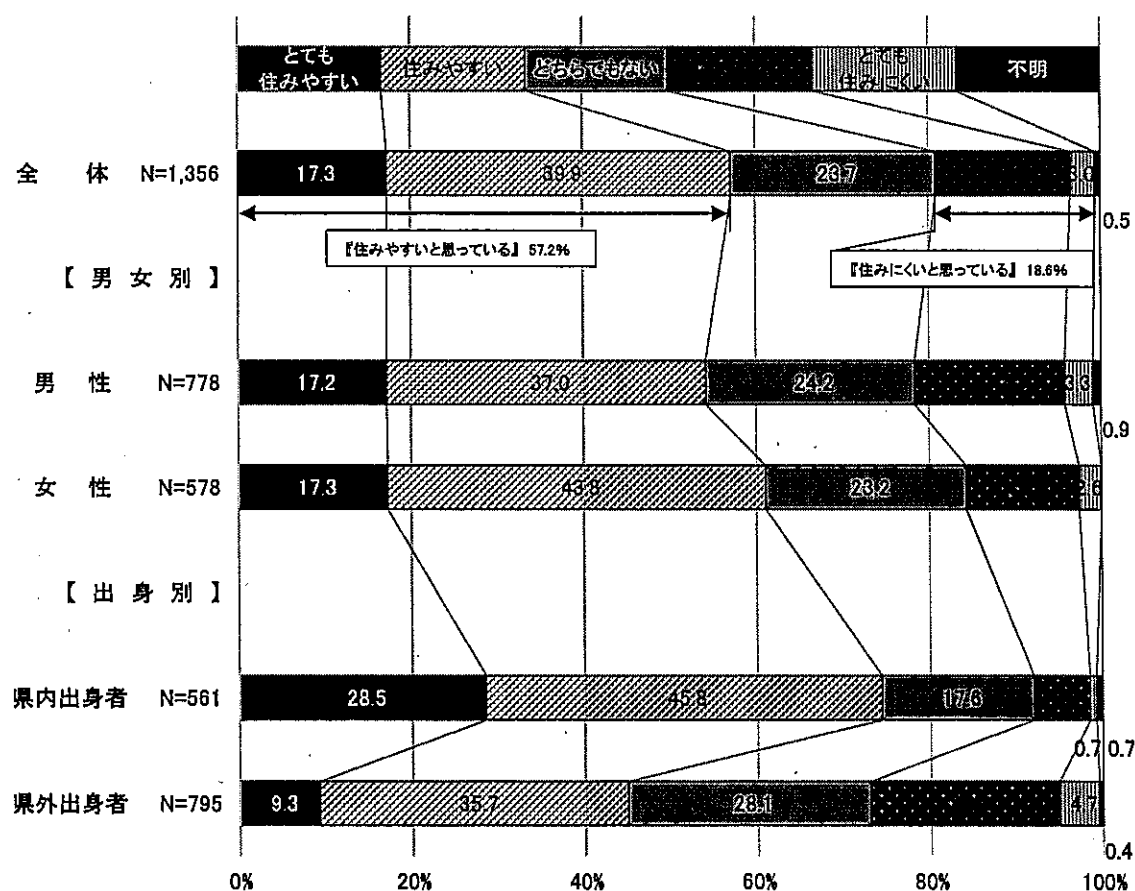
県内出身者の7割強が富山県は住みやすいと思っている

富山県の住みやすさについて尋ねたところ、「とても住みやすい」が17.3%、「住みやすい」が39.9%、「どちらでもない」が23.7%、「住みにくい」が15.6%、「とても住みにくい」が3.0%となっている。

男女別にみると、女性は、「住みやすい」が43.8%と男性に比べて多くなっており、『住みやすいと思っている(「とても住みやすい」+「住みやすい」)』が6割を超えている。

出身別にみると、県内出身者は、『住みやすいと思っている』が74.3%と多くなっているが、一方、県外出身者は、45.0%と低くなっている。

図1-4 富山県は住みやすいと思うか



○具体的な理由(主なもの)

「とても住みやすい」「住みやすい」

- ・食べ物がおいしい
- ・自然が豊かな
- ・自然災害(台風、地震)が少ない
- ・犯罪が少ない

「住みにくい」「とても住みにくい」

- ・交通の便が悪い
- ・車がないと不便
- ・気候(天気が悪い日が多い、雪が降ると不便)

(6)富山県での暮らしで不便な点

Q6. 富山県での暮らしで不便な点は何ですか。

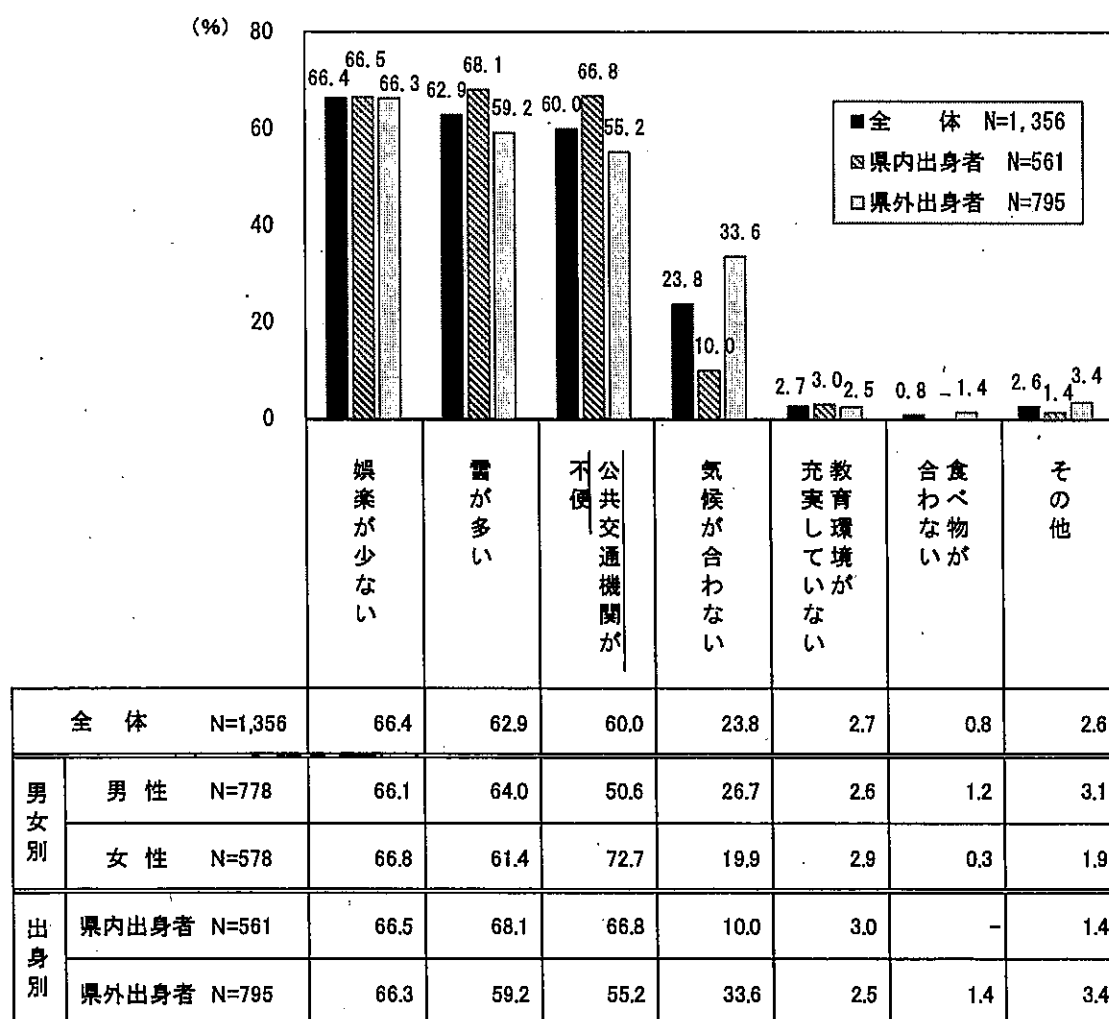
富山県での暮らしで不便な点は、「娯楽が少ない」が6割強と最も多い

富山県での暮らしで不便な点を尋ねたところ、「娯楽が少ない」が66.4%と最も多く、次いで「雪が多い」が62.9%、「公共交通機関が不便」が60.0%となっている。

男女別にみると、女性は、「公共交通機関が不便」が72.7%と男性に比べて22.1ポイント多くなっている。

出身別にみると、県内出身者は、「公共交通機関が不便」が66.8%と県外出身者に比べて11.6ポイント多くなっている。

図1-6 富山県での暮らしで不便な点 N=1,356 【複数回答】(該当するもの3つまで)



(14) 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか(県外就職希望者)

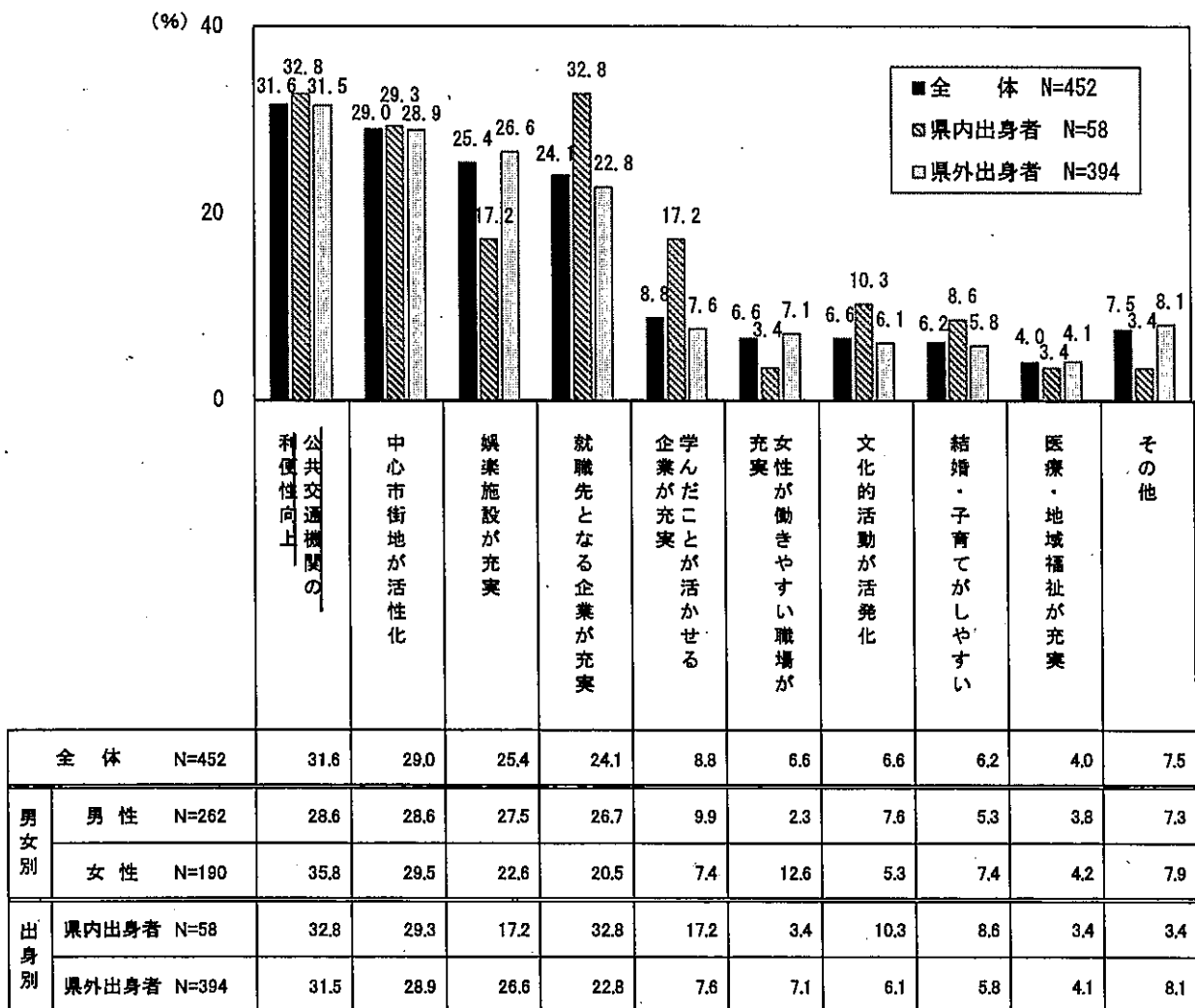
Q14. 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思いますか。

富山県に求めるものは、「公共交通機関の利便性向上」が最も多い

Q10 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した 452 人に富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うかを尋ねたところ、「公共交通機関の利便性向上」が 31.6%と最も多く、次いで「中心市街地が活性化」が 29.0%、「娯楽施設が充実」が 25.4%となっている。

出身別にみると、県内出身者は、「就職先となる企業が充実」が 32.8%と県外出身者に比べて 10.0 ポイント多くなっている。

図 1-14 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか N=452 【複数回答】(該当するもの2つまで)



(16) 富山県にあればいいと思うもの(自由記述)

Q16. 富山県にあればいいと思うものを教えてください。

娯楽施設の設置や公共交通機関の利便性向上を望む意見が多く見られる

富山県にあればいいと思うものを尋ねたところ、娯楽施設に関連するものと公共交通機関に関連する意見・要望が多く見られた。

具体的には、遊園地・テーマパークやショッピングセンターがあればいいという意見や公共交通機関の利便性を向上してほしいという意見があった。

主な意見・要望等

【施設】

- ・娯楽施設
- ・アミューズメントパーク、テーマパーク、遊園地
- ・レジャー施設
- ・ショッピングセンター
- ・デパート
- ・洋服店
- ・スポーツセンター
- ・ライブ会場
- ・書店
- ・図書館
- ・駐車場

【交通機関】

- ・公共交通機関の利便性の向上
(交通網の発達、電車・バスの増便、低価格化、運行時間の延長)
- ・地下鉄

【その他】

- ・駅、大学周辺の活性化
- ・TVのチャンネル数の増加
- ・プロ野球やプロサッカーチーム

(7)富山県の評価(暮らしで不便な点)

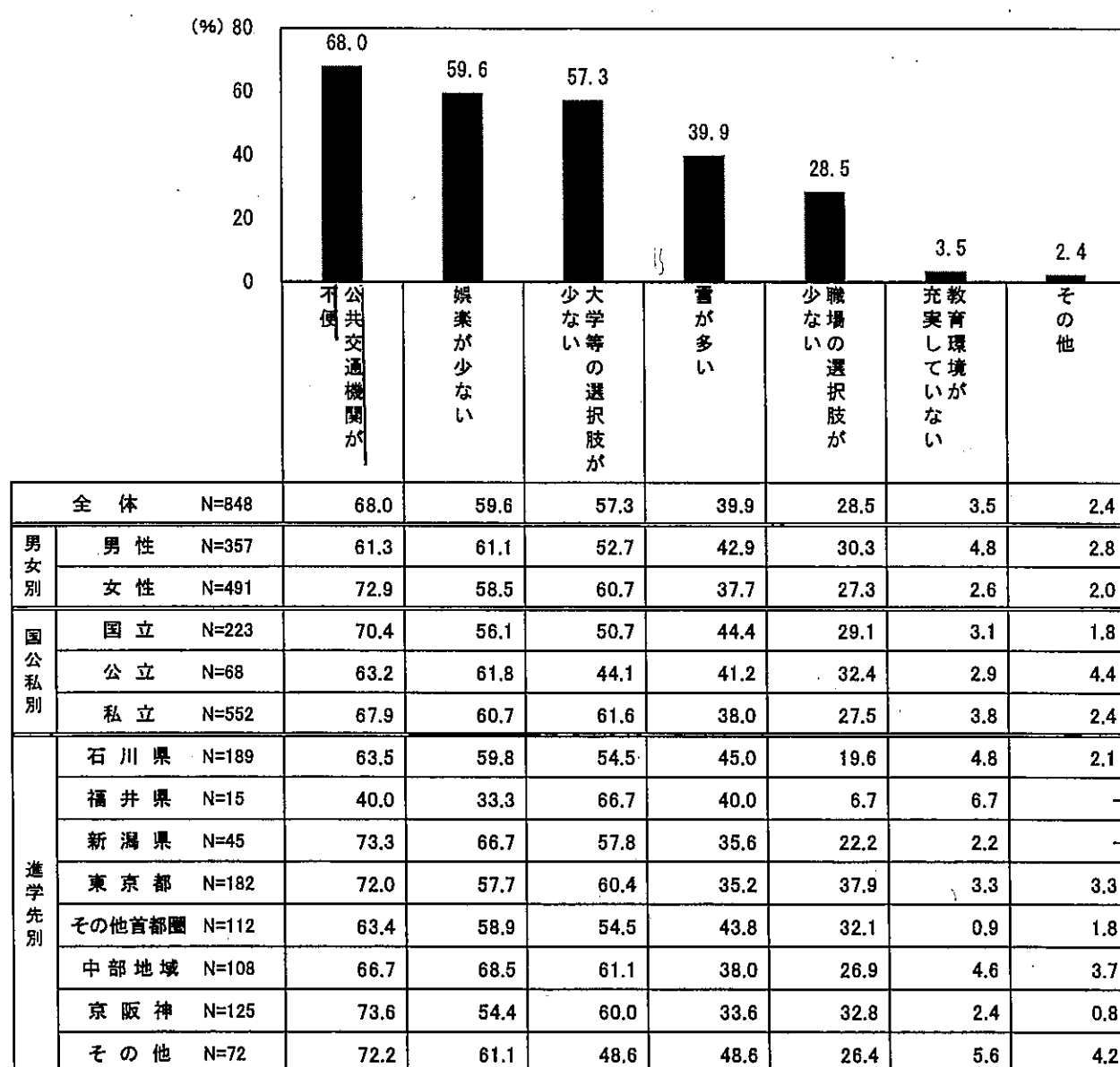
Q7. 富山県での暮らしで不便な点は何ですか。

富山県での暮らしで不便な点は、「公共交通機関が不便」が約7割と最も多い

富山県での暮らしで不便な点を尋ねたところ、「公共交通機関が不便」が68.0%と最も多く、次いで「娯楽が少ない」が59.6%、「大学等の選択肢が少ない」が57.3%となっている。

男女別にみると、女性は、「公共交通機関が不便」が72.9%と男性に比べて11.6ポイント多くなっている。

図 2-7 富山県の暮らしで不便な点 N=848 【複数回答】(該当するもの3つまで)



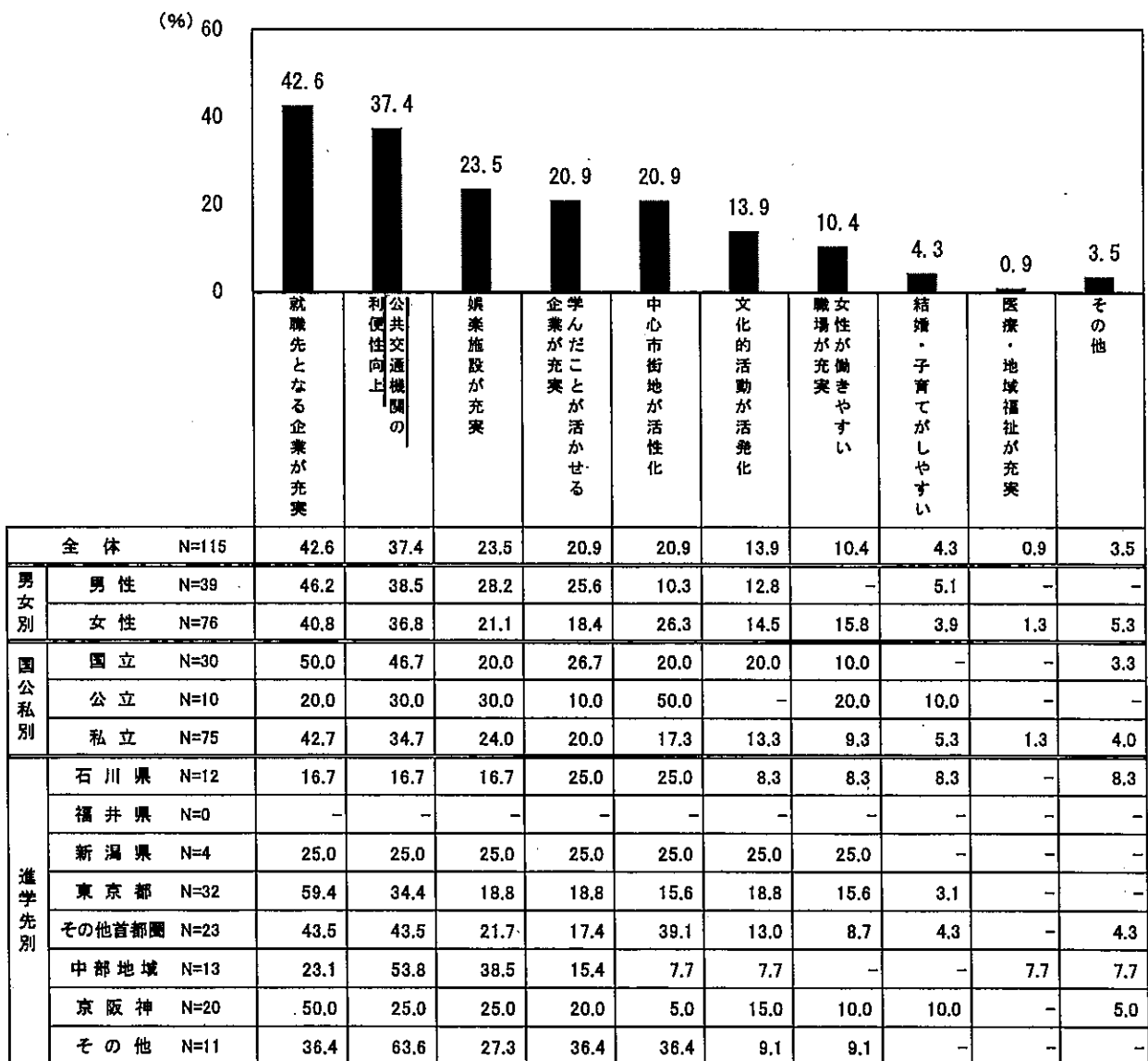
(15) 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか(県外就職希望者)

Q15. 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思いますか。

富山県に求めるものは、「就職先となる企業の充実」が4割と最も多い

Q11 において、「できるだけ富山県外で就職したい」、「絶対に富山県外で就職したい」と回答した 115 人に富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うかを尋ねたところ、「就職先となる企業が充実」が 42.6%と最も多く、次いで「公共交通機関の利便性向上」が 37.4%、「娯楽施設が充実」が 23.5%となっている。

図 2-15 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか N=115 【複数回答】(該当するもの2つまで)



(6) 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか

「就職先となる企業の充実」「公共交通機関の利便性向上」が第1位

『県外就職希望』の学生が、富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うかについてみると、県内大学生のうち県内出身者は、「就職先となる企業が充実」と「公共交通機関の利便性向上」が32.8%、県外出身者は、「公共交通機関の利便性向上」が31.5%、県外進学者は、「就職先となる企業が充実」が42.6%でそれぞれ第1位となっている。県内大学生(県内出身者)や県外進学者が「就職先となる企業が充実」を求めているのに対し、県内大学生(県外出身者)の「就職先となる企業が充実」は第4位にとどまっており、「公共交通機関の利便性向上」が第1位となっている。

図 3-6 富山県がどのように変われば、富山県で就職したいと思うか【複数回答】(該当するもの2つまで)

(%)

順位	県内大学生(県内出身者) N=58	順位	県内大学生(県外出身者) N=894	順位	県外進学者 N=116
1	就職先となる企業が充実 32.8	1	公共交通機関の利便性向上 31.5	1	就職先となる企業が充実 42.6
1	公共交通機関の利便性向上 32.8	2	中心市街地が活性化 28.9	2	公共交通機関の利便性向上 37.4
3	中心市街地が活性化 29.3	3	娯楽施設が充実 26.6	3	娯楽施設が充実 23.5
4	学んだことが活かせる企業が充実 17.2	4	就職先となる企業が充実 22.8	4	学んだことが活かせる企業が充実 20.9
4	娯楽施設が充実 17.2	5	その他 8.1	4	中心市街地が活性化 20.9
6	文化的活動が活発化 10.3	6	学んだことが活かせる企業が充実 7.6	6	文化的活動が活発化 13.9
7	結婚・子育てがしやすい 8.6	7	女性が働きやすい職場が充実 7.1	7	女性が働きやすい職場が充実 10.4
8	女性が働きやすい職場が充実 3.4	8	文化的活動が活発化 6.1	8	結婚・子育てがしやすい 4.3
8	医療・地域福祉が充実 3.4	9	結婚・子育てがしやすい 5.8	9	その他 3.5
8	その他 3.4	10	医療・地域福祉が充実 4.1	10	医療・地域福祉が充実 0.9